

## 再処理事業部における原子力防災訓練（再訓練）実施計画書 （案）

### 1. 訓練の目的

本訓練は、2020年度原子力防災訓練において確認された問題点に対する改善の取り組み結果を踏まえERCプラント班を交えた訓練を実施し、以下に示す達成目標および検証事項の達成度を確認するとともに、さらなる原子力災害に対する緊急時対応能力の向上を図ることを目的とする。

なお、本訓練は、「再処理事業所 再処理事業部 原子力事業者防災業務計画 第2章第5節2」に定める個別訓練として実施する。

以下に、達成目標および検証項目を示す。

達成目標：ERCプラント班との間で、あらかじめ整備した情報フローに基づき、情報共有のためのツール等を活用して、事故・プラントの状況、進展予測と事故収束対応戦略、戦略の進捗状況およびEAL判断根拠について、タイムリーにかつ確実に情報共有が出来る。

検証項目：①再処理事業部対策本部は、COP・戦略シート等を活用して、情報共有、対策検討等を行うことを徹底するとともに、即応センターへタイムリーに情報提供していること。

②見直しを実施したCOP・戦略シート等が情報共有に適した内容になっていること。

③即応センターは、見直しを実施した体制・役割分担により、優先順位が考慮された情報をERCプラント班へ提供できること。

④ERC対応者は、事故・プラント状況、進展予測および戦略に関し、簡潔かつポイントをつけてERCプラント班と積極的に情報共有すること。

### 2. 実施日時、対象施設および実施場所

#### (1) 実施日時

2021年6月25日（金） 13:00～17:00（予定）（振り返りを含む）

#### (2) 対象施設

- ・再処理施設
- ・廃棄物管理施設

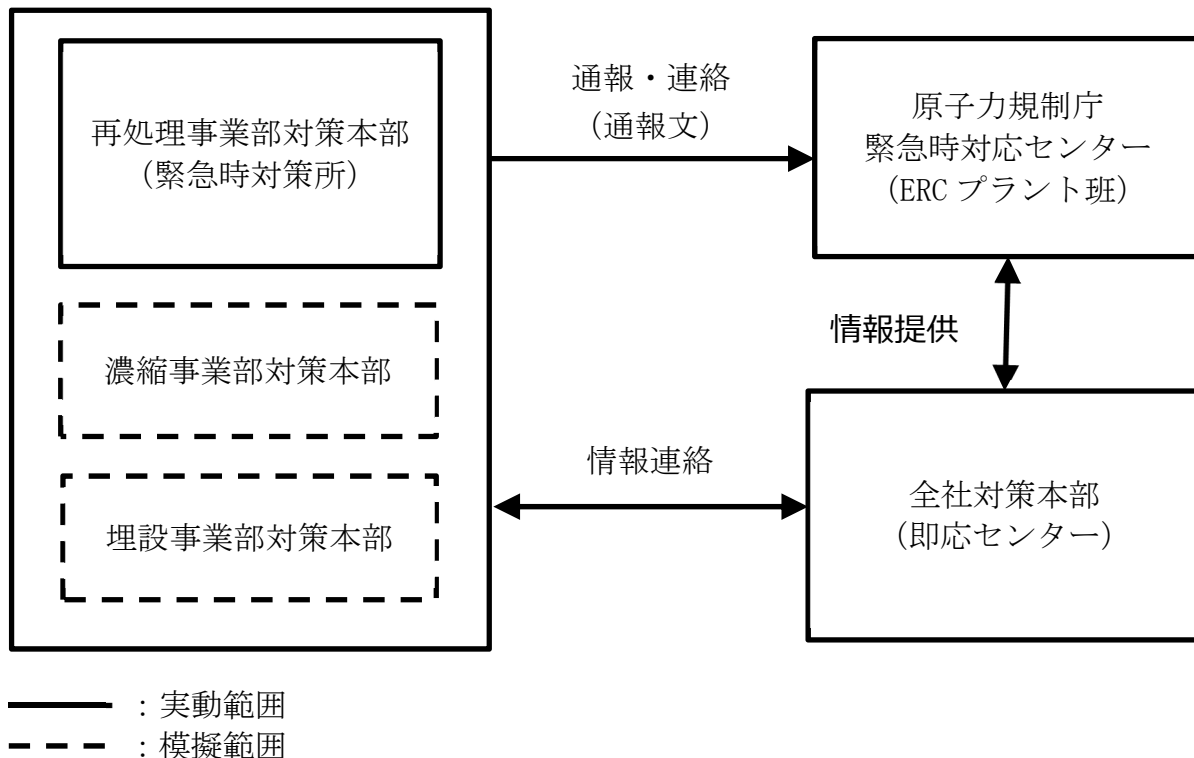
#### (3) 実施場所

- ・再処理事務所西棟（緊急時対策所）
- ・事務本館（即応センター）

### 3. 実施体制、評価体制および訓練対象者

#### (1) 実施体制

本訓練における検証項目を踏まえ、特に再処理事業部対策本部と即応センターとの円滑な情報共有を中心に検証するため、再処理事業部対策本部要員（緊急時対策所要員）および全社対策本部事務局要員を実動範囲とし、濃縮事業部対策本部および埋設事業部対策本部は模擬とする。



#### (2) 評価体制

再処理事業部（緊急時対策所）および全社対策本部（即応センター）に評価者（社外評価者および社内評価者）を配置し、評価者による評価および訓練終了後に振り返り等を通じて、改善事項の抽出を行う。（社外評価者は調整中）

#### (3) 訓練対象者

- ・再処理事業部対策本部：緊急時対策所で活動する要員  
（ただし、本訓練の検証項目に直接関連しない機能班（総務班、厚生班、救護班、資材班、広報班）、現場作業要員は対象外とする。）
- ・全社対策本部：事務局要員（事業部連絡員を含む）

#### 4. 訓練項目および具体的な検証内容

(1) 訓練項目

- ①事業部対策本部対応訓練
- ②全社対策本部運営訓練
- ③即応センター運営（E R C対応）訓練

(2) 具体的な検証内容

別紙参照

#### 5. 防災訓練のために想定する原子力災害の概要

(1) 訓練形式

プレーヤーに訓練シリオを事前に通知しない「シナリオ非提示形」により実施する。

(2) 事故想定

平日の通常勤務時間帯に、原子力災害対策特別措置法第10条事象および第15条事象へ至る原子力災害を想定する。

#### 6. 訓練の前提条件

施設運転状況の設定は以下のとおり。

- ①再処理施設はしゅん工後を想定し、重大事故対策設備の配備、工事が完了済みとする。
- ②再処理施設：再処理運転停止中。但し、重大事故対策で評価された廃液等を貯蔵中。
- ③廃棄物施設（E施設）：ガラス固化体を取り扱う作業なし。

#### 7. 添付資料

別紙：再処理事業部 防災訓練（再訓練）シナリオおよび検証ポイント

以 上

シナリオ非提示のため非公開

シナリオ非提示のため非公開

シナリオ非提示のため非公開